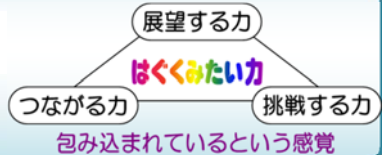


南丹教育局 NEWS 第9号

読書活動推進ニュース第22号



読書を通じて、学力の基盤となる「ことばの力」をはぐくむとともに、感性を磨き、想像力や表現力、人生をより豊かに生きる力を身に付けさせるために、学校や地域で様々な読書活動を推進しています。

今回は、南丹・船井小学校教育研究会図書館教育部会の取組を紹介します。

シリーズ① 読書活動実践紹介

南丹・船井
小学校教育研究会
図書館教育部

当部会では、「自ら学び、心豊かな子を育む図書館教育～見つける 深める 伝え合う～」を研究テーマに、年3回の研究活動を行っています。6月の部会では「そのべ読み語りクラブ」の皆さんによる「おはなし会」と意見交流、部員によるおすすめの本の紹介を行いました。

「おはなし会」～そのべ読み語りクラブの皆さん～

「そのべ読み語りクラブ」の皆さんから、1年間の活動や読み語りボランティアの基本について以下の4点の説明がありました。

- ① 三者がともに学び・ともに育つということ
(「読み手」「聞き手」「主催者」)
- ② 絵本を選ぶ力をつけていくこと(読み継がれてきた絵本の魅力を知る・一人よがりにならない)
- ③ 継続した学習を進めていくこと(仲間、専門家、書物からの情報収集)
- ④ 読み語りの「準備」と「ふり返り」を大切にすること

その後、低・中・高学年別の読み語りでは、「ねえだっこして」「おまたせクッキー」「ねこのくにのおきゃくさま」の実践報告があり、部員も子どもにもどった気分で、絵本のすばらしい世界に引き込まれました。



10月の予定

- ・公開授業
京丹波町立竹野小学校
安田有香 教諭
- ・実践交流会
各校の図書館教育の発表
摩気小学校の実践発表
殿田小学校の実践発表

「一冊の本から始まる図書館教育」

～部員によるおすすめの本の紹介～

図書館教育部員が各自持ち寄ったおすすめの本を紹介しました。初めて聞く話があったり、何度も読んだ本があったり・・・でも、良い本は何度紹介を聞いても良いし、聞かたびに新鮮な感じがしました。各学校に持ち帰り、すぐに活用したいものばかりでした！

